

| | |
|---|---|
|  | <p>埼玉陸士60期生会編集部 〒101-0025東京都千代田区神田佐久間町 1-14第2東ビル512号室 はやぶさ国際特許事務所 ☎03-6303-3915 編集責任者：川島 順 令和4年4月1日発行</p>  |
|---|---|

(題字は航士校幹事吉永朴閣下)

根本博中将 台湾金門島で中共軍を撃退

川島 順

予科21-7

航空7-1

(越谷)



はじめに：

秩父 154 号（令和 4 年 1 月）で根本博中将が終戦直後、蒙古の在留法人 4 万人を無事日本に送還した記事を紹介したが、その根本中将が日本に帰還してまもなく起った中国共産党と蒋介石率いる国民党との内戦の結果、国民党は中共軍に追い詰められ台湾に撤退する時に起こった金門島の戦いの際、根本中将は台湾に密航して蒋介石を助ける話を紹介したい。

1. 根本中将台湾に密航

根本中将は昭和 21 年 8 月に復員して東京の町田の自宅に静養していたが、国民党の敗北が決定的になった昭和 24 年（1949 年）、終戦時に内蒙古の 4 万人の在留法人の救出に対する便宜供与や、約 35 万人に上る北支派遣軍に対する温情的取り扱いを行った蒋介石に対する恩義に報いるため台湾に渡ることを決心した。

その裏には、戦前の台湾の第 7 代総督明石元二郎の長男の貿易商明石元長や明石元長が設立した台湾留学生の支援団

体「東亜修好会」からの要請により根本博は台湾密航を決意した。

しかし、根本には十分な資金がなかったため、明石元長は九州を拠点として資金調達や密航の準備を進めた。



図 1 中国服の根本博中将

昭和 24 年 6 月 26 日、家族には「釣りに行ってくる」と言って、通訳の吉村是二等 6 名と共に宮崎県の延岡市の沿岸から 26 トンの小さな漁船に乗って台湾に向け出発した。

一方、明石元長は、根本中將らを延岡から送り出し帰京したが、7 月 2 日、

航準備のための過労により急死した。

当時沖繩列島は米軍の占領下にあり、見つければ拿捕されてしまう。このような危険を犯して密輸船は7月10日台湾の基隆港に到着する。到着と同時に密航者として逮捕され投獄される。

しかし、根本投獄の報が国府軍の上層部、戦前に交流のあった国府軍の彭孟緝中將や鈕先銘中將の耳に伝わるや待遇は一変し、8月1日に台北に招かれ、8月中旬、蒋介石に面会する。

2. 蒋介石根本中將の金門島防衛計画を了承

当時の国民党は米国から軍事援助を打ち切られ孤立無援の状態であったので、蒋介石は直ちに根本の協力を受け入れた。

根本中將は中国名「林保源」と称し、湯恩伯の第5軍管区司令官顧問として中將に任命された。

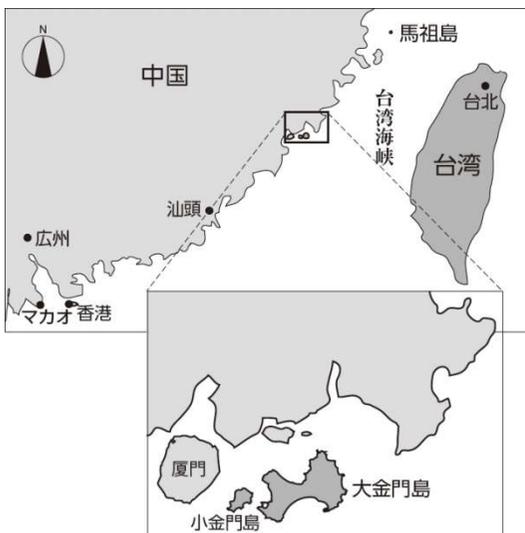


図2 金門島の地図

根本は直ちに、湯恩伯に対して廈門を放棄し、金門島を拠点として防衛することを提案する。

3. 金門島の戦い

先ず、金門島とはどこにあるか。

図2に示すように、中国本土の東南部の福建省の廈門がある罇頭湾に廈門と対峙する位置にあり、大金門島、小金門島等12の島から構成されている。

日本では金門島の戦いと呼ばれているが台湾では古寧頭戦役と呼ばれている。

1949年10月1日に中華人民共和国が成立した。

その当時、国府軍は中共軍に追われ最後の砦として、廈門、金門島に立てこもっていた。

中共軍は蒋介石が逃げ込んだ台湾を奪取するための橋頭堡確保のための金門島を攻略する作戦を立て、第一波上陸部隊9000名、第二波に1万名を投入して3日間で全島占領できると見込んでいた。

10月25日、200隻の上陸用舟艇に乗った約9000名の中共軍部隊が大金門島の北部の古寧頭、湖尾、壟口に敵前上陸を敢行した。

湖尾、壟口に上陸した中共軍は、国府軍の集中砲火により多大の犠牲を出し、この日の終わりには両橋頭堡は国府軍に制圧された。

しかし、古寧頭に上陸した中共軍は内陸に入り塹壕を掘り抵抗を続けた。

翌26日早朝、中共軍の約1000名が古寧頭に上陸し、町に立てこもる中共軍と合流し、これを包囲する国府軍と市街戦を行うも、空軍の支援を受けた国府軍によって沿岸まで退却を余儀なくされた。

翌27日早朝、武器弾薬を使い果たした中共軍1300名は国府軍の最終的な攻撃を受け同日10時に国府軍に降伏した。捕虜は約5200名であった。

この戦闘で勝利に大きく寄与した要因は：

(1) 根本中将の戦争指導が適切。

金門等の守備を任じられた湯恩伯第5軍官区司令に対して、根本は廈門島を放棄し、金門島で迎え撃つことを進言。しかも、敵の主力部隊をあえて上陸させ、そのすきに敵の輸送船を焼き、第2陣や補給部隊の後援を絶ち、内陸部で敵の主力に奇襲攻撃をかける作戦を指導した。この作戦はまさに的中し、敵の主力は壊滅し、一つの村、古寧頭村に逃げ込み頑強に抵抗した。

湯司令は村全体を焼き払う作戦を立てたが、根本はそれに反対し、村全体の包囲網を敷き、その一カ所に海岸に通ずる隙間をあける事を提案した。共産軍はその隙間から海岸線に脱出したが、待ち構えていた国府軍によって一毛打尽にされ、壊滅して降伏した。

なお、根本とは別に、台湾を支援した白団と称する旧日本軍将校を中心とする顧問団があった。白団は蒋介石が1949年頃、台湾の国軍を秘密裏に訓練・支援することを依頼して結成された日本軍将校による顧問団である。

白団には、1949年から1969年までの間、団長富田直亮（陸軍少将、中国名：白鴻亮）以下83名にのぼる団員が参加して活動していた。

蒋介石は白団の軍事顧問としての能力を高く評価しており、国共内戦で壊滅した軍の再建の他、軍の演習計画や動員計画、第一次及び第二次台湾海峡危機における作戦や国光計画と呼ばれている中国大陸への反攻作戦の検討などにも参加させていた。

しかし、根本は白団には参加せず単独で金門島の作戦を指導していた。

(2) 米軍の軽戦車 M5 を保有

国府軍は米軍の軽戦車 M5 を保有し

ていた。

M5 は「金門の熊」と愛称が与えられていた。人海戦術で押し寄せる中共軍に対し、弾薬を使い果たした M5 は歩兵部隊を踏み潰すロードローラとして活躍した。

これに対して中共軍は漁船を主とした上陸用舟艇のため戦車を始め機械化部隊を搬送することは出来なかった。

(3) 国府軍の戦車揚陸艇が停泊

金門島に偶々停泊していた国府軍の戦車揚陸艇（LST210 中栄）が木製ジャンクや漁船から成る中共軍の上陸舟艇部隊を海岸で破壊したことである。

なお、余談であるがこの揚陸船が金門島に停泊していた理由は、表向き「悪天候」となっているが、実は同船は台湾から黒砂糖を密輸してピーナッツオイルと交換する副業を行っていた。偶々ピーナッツオイルの集荷量が少なくピーナッツオイルの製造を待つために1日延長して停留していたとは、なんとなく台湾的であり、是が戦果に繋がったとはなんとなく幸運であろうか。

根本中将等の帰国に際し、中華民国国防部常務次長黄奕炳中将は「雪中送炭」（困った時に手を差し伸べる）と感謝の言葉を述べている。

4. 古寧頭戦史館

古寧頭戦史館は金門島金寧郷の古寧頭地区にある。島で一番賑やかな金城鎮中心部から北上して約10kmのところにある。その道すがら未だにトーチカの跡や今は使われていない高射砲などが存在する。

入り口には前に紹介した金門の虎・米国の軽戦車 M5 や兵士の象が飾られている。

中共軍の台湾侵攻も時間の問題とされていた時期に、国府軍によってようやく食い止めた古寧頭の戦いの記念館であるので、展示内容は政治色を強く帯びており、蒋介石総統を讃える声に満ちているが、根本中將はもとより白団についても一切触れられていない。



図3 古寧頭戦史館

しかし、根本中將の帰国に先立ち、蒋介石は感謝の品として、イギリス王室及び日本の皇室に送ったものと同じ花瓶を根本中將に贈っている。



図4 蒋介石が根本中將に送った花瓶

蒋介石が感謝のしるしとして根本中將に贈った花瓶は、一對の内右の方が根本に贈られ、左の花瓶は蒋介石の功績を称える「中正記念堂」に展示されている。

花瓶は3対作られ、一對はエリザベ

ス女王に、もう一對は昭和天皇に贈られたと云われている。

さらに、2009年（平成21年）に行われた古寧頭戦役戦没者慰霊祭には根本中將の密航に尽力した明石元長の息子・明石元紹や根本の通訳をした吉村是二の息子、吉村勝行等も台湾政府に招待され台湾の馬英九総統に面会している。

5. 金門島の現況

古寧頭戦役以来金門島はそれに隣接する馬祖島と共に国府軍の軍事拠点として一般観光客の出入りは激しく制限されてきた。

さらに、1958年米国のダレス長官が台湾訪問を前に中共軍が対岸から砲撃を開始し、金門砲戦が発生した。この砲撃戦は1979年まで断片的に行われてきた。

1979年中国が三通政策という、台湾に呼びかける政策を打ち出した。三通とは郵政、航路、貿易の開通のことである。台湾の国民党は1980年の後半から香港を経由して、貿易、文化、学術の交流を容認してきたが、中国が対台湾武力行使を放棄しない限り、三不政策を実行すると強調してきた。

しかし、1988年以降、通商、郵政、通航の何れも徐々に解放されてきた。

特に、通航は、2001年金門島ーアモイの運航が認められ、中国人の金門島観光が盛んになった。2017年には中国人観光客が35万人と膨れ上がり、観光客向けの商店街では、台湾の青天白日旗と中国の五星紅旗の両方を掲げた店が現れてきた。



図5 青天白日旗と五星紅旗を掲げる商店街（朝日新聞デジタル提供）

しかし、コロナの影響で2020年からは中国人観光客は全く来なくなり、商店街の五星紅旗は影を潜め、通りの両側には青天白日旗が掲げられている。これは台湾のアイデンティティの現れであろうか。

金門島はアモイの対岸で、海岸からはアモイのビル群が手に取る様に見える。そして海岸には、未だに戦車や上陸阻止用の杭が見受けられる。



図6 金門島の海岸、対岸のアモイのビル群が霞んで見える。

また、海岸には図7で示すテレサテンの歌を大音響で流す放送用のマイクの壁「北山放送壁」が建っている。



図7 テレサテンの歌を流す大音響のマイクの壁

さらに、戦時中約5年の歳月を費やして岩をくりぬいて作った戦備用水道がそのまま残されている。小型船の基地としても使用されていたようだ。



図8 青の洞窟を思わせるような水道

6. おわりに

終戦後、台湾に密航までして国府軍の窮状を救った根本中將の義侠心とプロとしての戦術指導の力量には敬服するほかない。我々の先輩にこのような立派な方が居られたことは我々にとっても誇りである。しかし、台湾にとってはオフレコにしたい話で余り世間に知られていないことは残念である。

**エネルギーシリーズⅧ
2050カーボンニュートラル①**

川島 順 予科21-7
(越谷市) 航空7-1

目次

エネルギーシリーズ

- I 日本におけるエネルギー資源(秩父148号)
- II 発電用エネルギー源
- III 火力発電
- IV 再生可能エネルギー(秩父149号)
- V 原子力発電(秩父151号)
- VI 日本のエネルギー需要将来予測(秩父152号)
- VII 未来都市(秩父153号)

**エネルギーシリーズⅧ
2050カーボンニュートラル①**

はじめに：

菅前内閣総理大臣は2020年(令和2年)10月の所信表明で、「日本は2050年までにカーボンニュートラルを目指す」と宣言した。

まず、カーボンニュートラルとは何か。地球温暖化が進む中で温室効果ガス即ち、CO₂の排出量を実質的にゼロにするということである。

温室効果ガスの削減については、2015(H27)年12月に開催された第21回国連気候変動枠組条約提携国会議において、パリ協定で各国は温室効果ガスの削減目標(NDC)を定め、温室効果ガス低排出型の長期戦略を作成し、通報することが定められている。

これ迄の日本の温室効果ガスの削減目標は2030年度に2013年度の実績値を26%削減するというものであった。

しかし、カーボンニュートラル宣言では、2030年度に2013年度の実績値の46%削減を目指し、さらに、50%削減に向けて挑戦すると表明した。

1. 世界の温室効果ガスの排出量

まず、全世界の温室効果ガスの排出量について考察してみたい。

全世界の温室効果ガスの排出量は二酸化炭素(以下CO₂という)だけで2016年で321億トンである。その内主な国の排出量とその増加はIEAの資料によれば、図1のように米国、EU、日本が下降している。中国、インド、アフリカが上昇している。

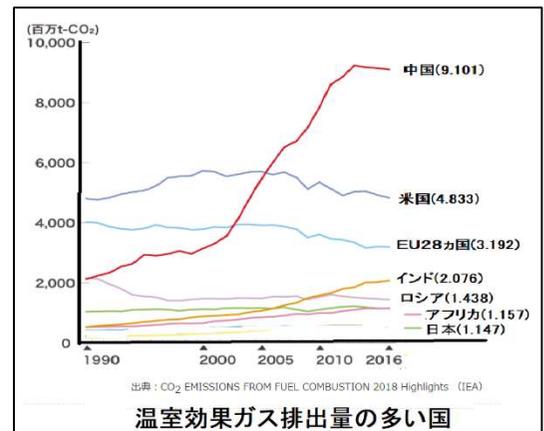


図1 温暖化ガス排出の多い国

特に、中国は2000年から2016までに30億トンから91億トンと約3倍に増加している。

中国の文献1)によれば、「1990年から2012年まで中国のCO₂の排出量の増加分は全世界の増加分の1/2を占め、2012年のCO₂の排出量は全世界の1/4以上を占めている。これは、石炭中心のエネルギー消費構造が環境汚染をもたらした主要な原因となっている。

エネルギー需要の増加と計画性のない

発展モデルは、石炭を中心とした従来型エネルギーへの依存を高めている。特に、GDP指向の経済発展政策が急速且つ集中的な重化学工業産業の成長をもたらし、石炭を中心としたエネルギー需要構造がこれらの産業の成長を促す原動力となっている。」と述べている。

世界各国の温室効果ガスの排出量の割合を示したものが図2である。

図2でも分かるように全世界の温室効果ガスの排出量の1/4以上は中国が占め、中国、米国、インドでほぼ半分を占めている。日本は4番目であるが僅か3.2%である。

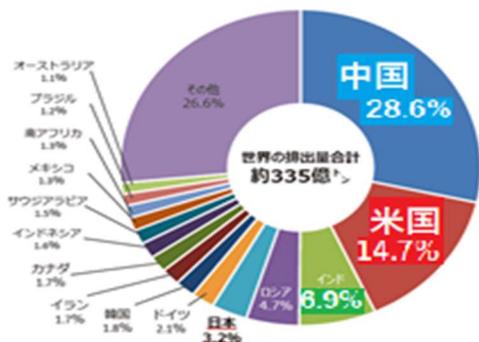


図2 世界の温室効果ガス排出量(2018年)

2. 2050カーボンニュートラル

カーボンニュートラルとは、どのような具体的手段によってそれを達成しようとしているのか。それを分かり易く示したのが図3である。

図3は日本の温室効果ガスの排出量の実績(2019年)に比較して2030年、2050年にはどの程度削減するかを示したものである。

2019年には電力、非電力併せて10.3億トン温室効果ガスを排出している。それを2030年には25%減少して9.3億トンを目指している。

2050年には電力部門では、脱炭素電源として、再生エネルギー、原子力、水素、アンモニア等による電力で賅えるように各部門の電力を開発整備し、脱炭素化を図る。しかし、どうしても削減できない炭素電源から排出される温室効果ガスについては、森林の整備やDAC(CO₂の空気直接回収技術)等によって削減を図る。

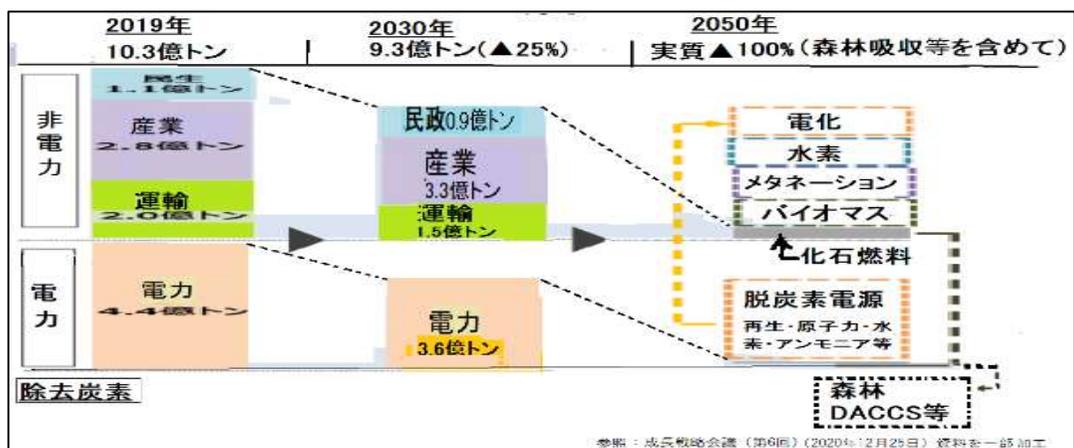


図3 2050年カーボンニュートラルへの道程



図4 2050グリーン成長戦略の重点14分野

成長戦略会議（第6回2020年）資料より抜粋

また、非電力部門では、脱炭素電力の使用や水素、メタネーション、バイオマス等の技術を開発整備して、どうしても削除できない化石燃料エネルギーについては電力部門と同じに、森林の整備やDACによって削減を図る。

その結果、2050年には温室効果ガスの排出量は実質的にゼロになる。

3. カーボンニュートラルの技術

具体的にはどのようにして温室効果ガスを削減していくか。その技術を次に紹介したい。

A. CO₂ ガス発生抑制技術

(1) 再生エネルギー

太陽光発電、風力発電、地熱発電、潮流発電等各種挙げられるが、2030年に間に合うものは、太陽光発電と洋上風力発電である。洋上風力発電は太陽光や陸上風力に比べて発電設備を設置できる区域が多いため、2030年には原発10基分に相当する1000万kwの設置を検討している。その様式としては世界でもまだ実用化されていない浮遊式の洋上風力発電の実用化を目指している。

(2) 原子力

電力発電の主力は原子力である。しかし、東日本大震災の後遺症として廃炉が決まったものを除く原発33基のうち再稼働した原発は9基しかなく、新しい原発設置の動きも小型原発のみに指向されている。しかし、資源エネルギー庁の令和3年7月のエネルギー基本計画（素案）において「ITER 計画等の国際連携を通じ、核融合研究開発に取り組む」と初めて核融合原子炉を取り上げた。

核融合原子炉は、燃料に重水素、トリチウムを使用し、ウランを使用せず、放射能の危険性がなく、しかも暴走しないので極めて安全な原子炉である。その実用化が待たれるところである。

(秩父151号・令和3年4月参照)

(3) 水素

水素は燃焼しても水となり全くCO₂を発生しないので、発電用燃料として使用される以外に、輸送、産業、建物などの燃料として使用される。

水素を製造するには、化石燃料の燃焼によって生じる排気から採取するか水の電解によって採取される。従って、安く水素を製造できる海外の企業から購入する方法と、輸送・貯蔵技術について研究

が行われている（秩父149号・令和2年10月号参照）。

（4）アンモニア

アンモニアは既存の火力発電所で石炭などに混ぜて使うと燃焼時にCO₂を出さないため、燃料にアンモニアを混ぜた分だけCO₂の排出量が削減される。

政府はアンモニア燃料の使用量を2030年に年300万トンとする目標をたてている。石炭火力発電所の燃料としてアンモニアを20%混ぜて使った場合、100万キロワットの大型設備6基分の発電容量をまかなえる計算になる。

最近、政府の後押しを受けてアンモニア発電が脚光を浴びてきた。

東京電力ホールディングスと中部電力が出資するJERAは2021年に愛知県碧南市の石炭火力発電所で燃料の一部にアンモニアを使用する実験を始めた。2040年代には100%にする事を目標としている。その他、電源開発、関西電力、中部電力でもアンモニア発電の検討を始めている。

アンモニアの製造には水素と窒素を高温高圧で合成するハーバー・ボッシュ法が用いられている。しかし、水素を製造する段階で大量のCO₂を排出する。

最近、東大の西林教授の研究チームがモリブデン触媒を使用して水と窒素ガスからアンモニアを合成する方法を開発した。この方法によれば、CO₂を全く出さずに常温常圧でアンモニアが合成できるので、その実用化が待たれる。

（5）メタネーション

メタネーションとは、水素とCO₂から天然ガスの主成分であるメタンを合成する技術のことである。

水素は太陽光発電や風力発電などの天候に左右されやすい発電装置における余剰電力を使用し、CO₂は発電などの化石燃料の燃焼時に発生するCO₂を原料

にするため、政府は同技術を「カーボンリサイクル」の有望な技術として2030年以降における脱炭素社会実現の柱の一つとしている。

（6）バイオマス

バイオマスとは、動植物などから生まれた生物資源の総称で、バイオマス発電では、この生物資源を「直接燃焼」したり「ガス化」して発電している。

光合成によりCO₂を吸収して成長したバイオマス資源を燃料とした発電は「京都議定書」における取扱上は、CO₂を排出しないものとされている。

具体例としては：

- ① 岩手県のくずまき高原牧場では、牛の排泄物を発酵させてメタンガスを抽出し、発電ならびに熱回収を行っている。
- ② 豊橋市バイオマス利活用センターでは、下水処理過程で発生する下水汚泥に加えて生ゴミ等の地域で発生するバイオマスをガス化して、ガス発電している。
- ③ 神戸の生活協同組合コープこうべでは、直営の食品工場で生産する豆腐、麺、パンなどの製造過程で発生する生ゴミと排水処理施設から排出される汚泥をメタンガスに変換し、電気や熱エネルギーとして工場内で再利用している。
- ④ 大分県日田市では、林地内残材や未利用間伐材、製材課程で発生する木くずを燃料として発電し、園芸ハウスに排温水を提供している。

B. CO₂ガス回収技術

空気中に非出されたCO₂を回収して実質的に大気中のCO₂を減らす技術はネガティブ・エミッションと呼ばれ、2050カーボンニュートラルでは、どうしても削減できない産業又は民生から発

る CO₂ を大気から回収して減らし、実質的に温室効果ガスの発生量をゼロにするための技術の総称である。

その具体的方法は：

(1) 森林

木の成長には CO₂ が必要である。従って、植林を進めればその分だけ CO₂ が吸収されて減ることになる。

林野庁の推定では、36～40 年生のスギ人工林 1 ヘクタール当たり、年間に吸収される CO₂ の量は、約 8.8 トンとされている。

(2) 直接空気回収技術 (DAC)

DACとは、大気中の CO₂ を直接回収する技術で、吸収液や吸着材に空気中の CO₂ を吸収・吸着させ、その後加熱や減圧などの操作で CO₂ を分離・回収する方法が代表的であるが、イオン交換膜を利用する「膜分離法」、CO₂ を含むガスを冷却してドライアイスにして分離する「深冷法」などがある。

① 最近、九州大学ネガティブエミッションテクノロジー研究センターの藤川茂紀教授らが、極めて薄い膜を使って大気中の CO₂ を透過させて回収する方法を発表した。

② スイスの新興企業クライムワークスは、2017年5月 CO₂ を空気から直接回収する商用プラントを設立した。この装置は、「Orca」と呼ばれ、CO₂ を捕捉する 18 基のフィルターの付いた送風機とフィルターに捕捉された CO₂ を回収する加熱装置で構成されている。

(3) CO₂ 回収貯留 (CCS)

CCS を実施するためには、CO₂ を貯留するすき間のある地層 (貯留層) と、その上に CO₂ を通さない地層 (遮蔽層) で覆われていることが必要である。

IPCC (国連気候変動に関する政府間パネル) の調査では、CO₂ を 1000 年

にわたって貯留層に閉じ込めることが可能であると報告されている。

① 新エネルギー産業技術機構 (NEDO) と日本 CCS 調査株式会社 (JCCS) が中心となり、北海道・苫小牧で、日本初の大規模な CCS 実証試験が行なわれた。2012 年度から設備の建設を始め、2016 年 4 月から、海底下の地中深くに CO₂ を圧入する作業を開始し、2019 年 11 月、目標の 30 万トンの CO₂ を貯留できた。

② アイスランドの電力会社レイキャプ エナジーは、2017 年 10 月、CO₂ を石に変える「CarbFix」というシステムを開発し、前述のクライムワークス社の CO₂ 直接回収装置「Orca」と「CarbFix」とを組み合わせ、2025 年までには世界で排出される CO₂ の 1% (3 億 5 千トン) を回収することを目標としたシステムを建設している。

(4) CO₂ 回収有効利用 (CCU)

回収された CO₂ を有効に活用する種々の用途が開発されている。

① 直接利用法：

野菜やフルーツ製造のために直接 CO₂ をビニールハウス内に供給する方法や冷凍して作られるドライアイスを挙げることが出来る。

② 化合製品の製造

水素と結合してメタンやメタノールを製造する。更に重合してポリカーボネート等のポリマーを製造する。

③ コンクリート

コンクリート製造時に CO₂ を吹き込むと強度の高いコンクリートを得ることが出来る。(続く)

インパール作戦の 中 第一線突進師団としての 第15師団の任務と苦悩

柳澤 孝興
陸自71
(さいたま市)



1. はじめに

筆者は、ガダルカナルでの遺骨収集に引き続き、ビルマの日本軍の行動地域を訪れました。ガダルカナルから転進の後、多くの将兵が再編成され、ビルマに投入されたからです。

大東亜戦争初期、日本軍は、インドから中国への援蔭ルートへの遮断とシンガポール攻略時の側背援護のためビルマに進攻しました。

ビルマから敗退した英国は、インドの東部のインパールを拠点として反攻を企図し、空挺部隊をビルマに降下させ、日本軍の後方機能を麻痺させました。

機動力に難点を有していた日本軍は、降着した英空挺部隊の掃討に、大変、苦労した反省から、防勢方針を転換し、英軍の反攻拠点のインパールを制圧することを決意しました。

このため、中国大陸を転戦中の第15師団を、ビルマの第15軍に編入する旨を内定し、タイへの移動を命じ、南方軍の隷下としました。

これがインパール作戦の始まりでした。

2. インパール作戦

大本営は、インパール作戦の狙いには

理解を示すも、兵站面の制約等の理由からあくまでも防勢線の逐次の推進の考えを堅持し、インド進攻までを企図する第15軍の進言を認めませんでした。

そして第15軍の独走を抑えるためにも、当面、第15師団を南方軍直轄とし、道路建設の任務を付与しました。



当時、ビルマへの輸送は、日本海空戦力のガダルカナル正面への転用により、海上輸送が期待できず、新たに陸上の輸送路が必要となった状況でした。

南方軍は、道路建設のため第15師団を投入するとともに、泰緬鉄道の早期建設に腐心することとなったのです。

第15師団のビルマへの移動を要望する第15軍と南方軍の相克の中で、現場の第15師団が苦悩する背景となったのです。



泰緬国境の山岳地帯は、険しく、交通路は殆どなく、かつ雨期には、河川の氾濫により保守が困難な地形でした。



第15師団は、中国大陸からの約7000kmの長距離の移動の後、南方軍から、タイのチェンマイからビルマのタウンゲーに至る間の道路建設工事を命ぜられ、人力をもって約400kmに及び山岳地帯の道路建設に従事することとなったのです。しかし、泰緬国境の山岳地帯は、急峻で道路建設は、困難を極め、降雨により道路が流される等の不運が続きました。

第15軍のインパール作戦構想と中第一線の第15師団



3. 第15軍の構想と第15師団の任務

インパール作戦主担当の第15軍の全般方針は、3個師団を並列し、インパールとコヒマを占領する構想で、第15師団を中第一線としてインパール北側に突

進させる方針でした。

大本營がインパール作戦準備を発令後、第15師団は、ようやく、ビルマへの移動を許されましたが、第15師団の3個連隊のうちの1個連隊は、引き続き、国境における道路建設のため残留となりました。

しかも、第15師団の編成が、輓馬編成から駄馬編成に改編させられたため、第一線中隊の勢力は半分以下となりました。加えて、作戦間、旅団司令部と2個大隊を引き抜かれる等、第15師団の戦力は、通常より半減してしまい、実質的に混成旅団程度となってしまいました。しかも、移動手段の制約から、徒歩でビルマに移動せざるを得ず、疲労困憊の末、攻撃発起位置に到着したのは、作戦開始直前でした。

この背景には、約30万人のビルマ派遣日本軍の補給路として、航空攻撃に脆弱な泰緬鉄道やクラ地峡横断鉄道の他に、安定した地上補給道路が不可欠であり、第15師団の建設隊力が必要であったことが挙げられます。

しかしながら、戦力が半減したとはいえ、第15師団は、急峻な山岳地内を挺進し、英国軍の補給幹線のインパール～コヒマ道に進出し、インパールの包囲態勢を完成させ、北側からインパールを圧迫する等の成果を挙げました。

しかし、補給が途絶えた第15師団は、英国軍の圧倒的な航空戦力、機動力及び火力の前に、戦い利あらず、インパールから、敗退のやむなきに至りました。また作戦間、第15軍隷下の3人の師団長が全員、解任される等の人事も混乱に拍車を加えることとなりました。

崩壊するビルマの日本軍の中にあって、第15師団は、最後まで組織的な戦闘を継続し、第15軍の中核として、泰緬鉄道沿いに逐次の防御陣地を占領しつつ、

在ビルマ日本軍のタイへの離脱を援護し続けたのです。

たが発売禁止になり、日本で日本語に翻訳された本が発行されている。

ビルマ作戦末期の英軍の追撃と第15師団作戦地域



まさに、第15師団は、ビルマ日本軍の最期の命脈を守り抜いたのです。多くの艱難に翻弄された第15師団の将兵の犠牲により、助けられた生命も多かったものと感じております。

英霊の安らかなる眠りを願い、慰霊の誠を捧げたいと思います。

【図書紹介】

韓国慰安婦問題解決の決定版
「赤い水曜日・30年間の慰安婦歪曲」
金炳憲（キム・ピヨンホン）著、
2021年8月14日未来社（韓国）発行



また、驚くべき内容の慰安婦問題のタブーを破る本が韓国人によって韓国国内で発行された。

今までも韓国で韓国人の手になる日韓歴史問題に関する批判的な本が度々発行されてきた。その代表的なものは次の3つの本である。何れも韓国国内で発行され

① 「親日派のための弁明」 金完燮著の日本語版が平成14年7月、荒木和弘ほか1名によって発行された。

秩父77号（平成14年10月）

② 「殴り殺される覚悟で書いた親日宣言」 チョ・ヨンナム著、平成17年4月ランムハウス講談社発行、秩父88号（平成17年7月）

③ 「反日種族主義」 著者は李栄薫ほか5名、2019年11月15日、文藝春秋社より発行された日本語版で、原本は2019年7月10日、韓国の未来社から発行されている。内容は秩父147号（令和2年4月）で詳しく紹介されている。

今回は発行された「赤い水曜日」には「日本軍慰安婦被害者に該当する女性は一人もいない」と結論付けている。

先ず筆者を紹介しよう。

金炳憲は韓国東国大学大学院卒、現在韓国史教科書研究所所長

題名の「赤い水曜日」とはなにか。韓国の最大の慰安婦支援団体「挺身隊問題対策協議会」（現「正義連」と改称）は、毎水曜日、日本大使館前で反日慰安婦デモ「水曜日デモ」を行っている。

韓国の小学校では、社会科で水曜日デモの写真を見せて「売春婦強制動員説・性奴隷説・戦争犯罪説」を小学生に植え付けている。

筆者は、韓国慰安婦について検証した結果、強制動員などはなかったことを確認し、赤い即ち「真っ赤な嘘」である「水曜日デモ」に扇動されてはいけないということを韓国民に訴えるためにこの本を発行した。

1. 赤い水曜日での主張

「赤い水曜日」の日本語版はまだ発行されていないので、なでしこアクションや文春オンラインに掲載された目次の翻訳や要約文を基にその大要を説明する。

先ず目次は

第一部 慰安婦という記憶との闘争

第二部 信じられない司法部の判決

第三部 国民を騙し世界を欺く聖域化運動

第四部 30年間の慰安婦の歪曲・赤い水曜日

と全十三章からなる膨大な資料と証拠を積み重ねて「日本軍強制徴用による慰安婦は一人も存在せず、日本軍は慰安所で定められた費用を払い性的欲望を解消する顧客に過ぎない」と結論づけている。

さらに、「慰安婦問題の本質は貧困であり、貧しさによってもたらされた悲しく恥ずべき我々の自画像」である「もう人のせいにするのはやめよう」「問題解決の前提はうそを辞め正直になることだ」と付言している。

2. 正義連での寄付金流用問題

もっと問題になることは「水曜日デモ」を主催している「正義連」の代表の汚職事件だ。2021年10月6日の読売新聞によれば、「正義連」の代表伊美香被告が慰安婦への募金として集めた金のうち約1億ウォン（日本円で約960万円）を計217回、焼き肉店、マッサージ、速度違反反則金、医療費等にあって着服していたとのこと。

朝鮮日報によると国庫補助金と寄付金中37億ウォン（日本円で約3億6千万円）が正義連の帳簿から消えたと報じている。ソウル西部地裁で公判中であるがその結末やいかに。

3. 米軍慰安婦の問題

もう一つ問題点は、米軍又は連合軍に対する慰安婦問題である。

朝鮮が日本領であった時代は、日本は公娼を認めていたので、業者が慰安婦を集めて日本軍のために慰安所を設けてサービスすることは違法でなかった。従って、日本軍が朝鮮の娘を強制徴用する必要はなかった。

終戦後には日本軍に代わって米軍、連合軍が朝鮮に進出した。日本軍のために設営された慰安所はそのまま連合軍の慰安所に引き継がれた。

朝鮮戦争後の韓国は極めて貧しかった。1953年までに売春婦の総数は35万人に達した。

1963年、朴正熙がクーデターで大統領に就任すると、売春防止法と観光促進法を制定した。しかし、連合軍が使用する基地村は売春防止法の取り締まりから除外されていた。

1960年代では基地村の売春と関連産業で稼ぐ金は韓国のGNPの25%近くまで達した。1962年には基地村に2万人の慰安婦が登録されていた。米軍慰安婦は洋公主と呼ばれ、その後も韓国政府は外貨不足のため積極的に洋公主をドル稼ぎの愛国者として奨励した。

しかし、性病の蔓延を防ぐために、性病に罹った慰安婦は強制的に鉄格子の嵌められた施設に収容した。この施設のことを米軍兵士はモンキー・ハウスと呼んでいた。

このモンキー・ハウスは1977年8月、性病落検者施設に関する規則が制定され、公式な施設となった。

韓国政府文書によれば2013年時点では基地村は62か所、米軍慰安婦は9935名いたとされている。

2014年6月、米軍慰安婦として基

地村で働かされていた韓国女性122人が韓国政府を相手に国家賠償を求める訴訟を起こした。

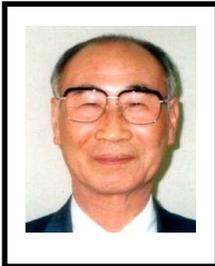
この訴訟は2017年1月、原告側一部勝訴の判決が出された。

その内容は性病落検者施設に関する規則が制定された1977年8月以前にモンキー・ハウスに強制収容された洋公主57人に500万ウォン（約50万円）ずつ賠償せよというものである。所が、韓国政府は現在も国の介入を公式には認めていない。

また、米軍慰安婦支援団体及び韓国政府は米国に対しては、いまだに謝罪の要求や損害賠償の請求をしたことがない。長い物には巻かれろ、取れるところから取れという韓国人の打算の表れか。

宮澤洋夫君を偲ぶ

予科12-9, 航空5-4



まさに巨星落つ。宮澤君は埼玉60期生会の生みの親である。

埼玉60の機関誌である秩父100号記念特集には

「初代表の宮澤洋夫は発会初頭の昭和48年12月に就任し、昭和60年1月まで13年間の献身的な努力をして現在に継承される運営の基礎を確立した。」と紹介されているように、埼玉60の世話人会、忘年会等に彼が創成した埼玉綜合法律事務所の事務室を提供し、便宜を図ってくれ、埼玉60会の団結と会勢に大きく貢献した。

本部の60期生会でも昭和60年に代表を務め、熱海つるやホテルで全国総会

を開催し、その後も総務委員、組織委員として活躍、平成9年以降は専ら偕行社の運営委員として活躍されてきた。

予科士官学校のあった振武台の朝霞駐屯地との連絡会では第3代表を務め、振武台記念館の改修工事や遙拝場の整備に貢献した。返す返へすもない惜しい人を失ったものである。

ご冥福をお祈りいたします。

(川島 順)

事務局だより

世話人会・委員会報告

【会員の消息】

訃報

★古川謹吾君（予科28-6, 重砲14-6）令和3年12月9日物故。

ご遺族博着宜様（長男）

★若菜弘君（予科31-10, 野重14-4）令和4年1月14日物故。

ご遺族素子様（長女）

★宮沢洋夫君（予科12-9, 航空5-4）令和4年2月22日物故。家族葬3月1日、ご遺族嘉枝子様（妻）、宮沢薫様（次男）、久喜市桜田4-25-15 謹んでお悔やみを申し上げます。

【回覧】

秩父154号に対して多数の方から礼状、感想等を頂く。

◆山崎美千代様「岡本祥一氏の宇宙シリーズX、物理的な自然と科学を大変わかりやすく執筆され、これまでのシリーズI~IXまで遡って読んでみたいと思う記事でした。川島順氏の「根本中將の英断…」終戦間際に日ソ中立条約を一方向的に破棄して参戦した戦史は、幹部候補生として入隊した私が初めて受講した戦史教育でした。映画「氷雪の門」とともに鮮

烈な影響を受けました。……」

◆飯田伸行様「根本中將の英断……」に感銘を受けました。

◆清水美都子様「自衛隊の女性パイロットの記事、興味深く拝見しました。

【編集後記】

◆「根本中將の台湾の金門島での中共軍の撃退」は、まさに小説のような話、根本中將の義侠心とプロとしての戦術指導、敬服のほかない。

それと同じような話が、本年3月のロシアのウクライナ侵攻において起こっている。ウクライナの外国義勇軍兵の応募に日本人70名が手を挙げた。内50

名が元自衛官。日本人の義侠心はまだ健在である。

◆「2050カーボンニュートラル」温暖化ガスの排出量、中国がダントツに多い。軍拡に大金をつぎ込んでいる中国、最と真剣に取り組んでもらわなければ、地球の環境汚染は悪くなる一方である。

◆柳澤孝興氏の「インパール作戦の第15師団の任務」無謀な作戦と言われたインパールでよう頑張ってくれた。英霊に感謝を捧げよう。

◆「赤い水曜日」韓国でもまだ良識ある人物がおられる。悪化する日韓関係に一筋の光明を見いだしたようだ。

令和4年 埼玉偕行会“ゆっくり歩こう会” 予定表

まとめ役：竹下泰義（陸自70）、黒沢利光（陸自76）

| 日時 | 集合場所 | 見所 | 担当 |
|------------------|------------------------|----------------------------|----|
| 4/17（日） 11：00 | 西部新宿線、航空公園駅、東口 | 防衛医大～航空公園 | 竹下 |
| 5/15（日） 11：00 | 西武新宿線 東村山駅西口 | 郷土資料館、久米川古戦場跡北山公園 | 黒澤 |
| 6/19（日） 11：00 | J R中央・総武線各停 信濃町駅改札口 | オリンピックスタジアム（新国立競技場）、明治神宮外苑 | 竹下 |
| 9/18（日） 11：00 | J R代々木駅 出口：A-1 | 明治神宮 太田記念美術館（浮世絵） | 黒澤 |
| 10/16日） 11：00 | J R青梅線 御嶽駅改札口 | 玉堂美術館、御嶽峡谷 小沢酒造 | 黒澤 |
| 11/20日） 11：00 | 東部野田線 北大宮駅、改札口 | 埼玉県護国神社、大宮公園 武蔵一宮氷川神社 | 竹下 |
| | | | |

【携帯電話】 小林武一 090-9209-7103 竹下泰義 090-7748-1810
 黒沢利光 04-2964-7084 田村正夫 080-1111-4530
 川島 順 090-2153-2335 福島孝夫 090-4838-6561